

循環型社会の実現に向けて3R推進活動

－自然遊び体験を通じ手づくりで楽しむ－

田中 敏恵（社会人コース）

1. はじめに

地球温暖化を防止するためには一人ひとりの「3R」運動の実践に取り組むことが大切と考え、できることから始めています。

環境問題は家庭生活に日常的に色々と発生します。ごみの減量化が緊急の課題です。家庭では幼少の頃からの教育として、子どもと一緒に生活の中で学ぶ。遊びの中で手づくりをしながら楽しく学んでいく方法を取り入れました。

2. 開発工夫したプログラム

1) 魚釣りゲーム

琵琶湖をよく知ってもらうため、魚の名前を覚えたり、キャッチアンドリリースについて遊びを通して知ってもらうゲームです。これがきっかけで休日に近くの川や琵琶湖で魚つりに家族で出かけ、今どのように環境がこわされているのかを知ってほしい。

2) 木の芽の観察

冬芽の様子を手づくり紙芝居で見ます。近くの公園や野原を散歩する時、五感を駆使し、観察眼を養う前段階として取り入れました。

3) 廃ガラスでアートづくり

ウイスキーや化粧品のビンを持参します。捨てれば危険なごみにしかなりませんが、砕いて溶かし、命を吹き込めば全く別の物になります。ものづくりの楽しさを体験します。

4) うちわづくり

町中で配布されたウチワを手づくりし、「絵本のおみきかせ」時に使って楽しんでいます。「もったいないばあさん」の絵本を見てもらって物を大切にすることを題材としています。

5) アクリルタワシやビン洗いを手づくり

琵琶湖へ汚れた水を流さないためにいろいろな工夫をしています。

6) 郷土食をお母さん達と作る

郷土食を作ったり、手近にある安全な材料を使ったりして、地産地消を推奨しています。

7) 陶器の再生

破損した陶器の回収BOXを設置して、産業廃棄物業者に引き取ってもらい、岐阜の美濃焼として再生、流通する窓口を設けています。不燃物のごみを減らし、今、あるものの命をものづくりにより蘇らせるプログラムです。

8) 子どもたちが二酸化炭素を減らす取り組み

テレビゲームをする時間を10分減らしたり、テレビ視聴を減らしたりすることが目標で、出来た時、色エンピツで塗っていきます。お母さんたちに日常生活をチェックしてもらい、項目別に点数をつけてもらっています。

3. 私たちにできること

「できることから始める。」「小さなことでも多くの人が力を合わせてやっていく。」がモットーです。小さなステップでもいい私たち一人ひとりが一步を踏み出し、行動に移し、温暖化を減らす努力をしていくことで、わたくしたちはまだ未来を変えることができると確信しています。消費者がライフスタイル全般を見直し「ムダをなくす」。どんな行動が本当に環境によい効果があるのか、問いかけをしていきたいと考えます。